

空母ロナルド・レーガン艦載機の着陸訓練について

このことについて、防衛省北関東防衛局より、平成29年5月2日（火）から同月13日（土）の間、硫黄島において着陸訓練を実施する予定であり、天候等の事情により、硫黄島での訓練が実施できない場合には、横田飛行場において平成29年5月10日（水）から同月13日（土）までの4日間、各日午前10時から午後10時までの間で、訓練を実施する可能性がある旨の情報提供がありましたので、お知らせします。詳細については、防衛省ホームページ（<http://www.mod.go.jp/j/press/news/2017/04/24b.html>）を御参照ください。

なお、横田基地周辺市町基地対策連絡会は、本件について、下記のとおり要請を行いましたので、お知らせします。

記

○ 要請内容

1 要請日

平成29年4月25日（火）

2 要請先

外務大臣 防衛大臣 北関東防衛局長 横田防衛事務所長

在日米軍司令官 在日米海軍司令官 米海軍厚木航空施設司令官

米海軍第5空母航空団司令官

第5空軍司令官 在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官

3 要請内容

別紙1、別紙2及び別紙3のとおり

空母ロナルド・レーガン艦載機の着陸訓練について（要請）

平成 29 年 4 月 24 日（月）、防衛省北関東防衛局から、空母ロナルド・レーガン艦載機の着陸訓練について、硫黄島で実施予定の訓練が天候等の事情により、実施できない場合は、平成 29 年 5 月 10 日（水）から 13 日（土）までの 4 日間、横田基地を使用して実施する旨の通告を受けました。

横田基地は、人口が密集した市街地に所在しており、周辺住民は、日頃から昼夜を分かたぬ航空機騒音に悩まされるとともに、事故への不安も抱えています。この上、横田基地本来の機能と異なる訓練が実施され、周辺住民の生活環境がさらに損なわれることを容認することはできません。

空母艦載機による着陸訓練が実施されることは、周辺住民の感情悪化を招くばかりでなく、ひいては、日米友好関係にも悪影響を及ぼしかねないと懸念しています。

貴職におかれましては、このような状況を十分認識され、昼夜を問わず、横田基地における空母艦載機による着陸訓練を実施しないよう、米軍に申し入れることを強く要請します。

平成 29 年 4 月 25 日

外務大臣 岸田 文雄 殿

防衛大臣 稲田 朋美 殿

防衛省北関東防衛局長 平井 啓友 殿

防衛省北関東防衛局横田防衛事務所長 本田 和俊 殿

横田基地周辺市町基地対策連絡会構成市町長

立川市長 清水 庄平

昭島市長 臼井 伸介

福生市長 加藤 育男

武蔵村山市長 藤野 勝

羽村市長 並木 心

瑞穂町長 石塚 幸右衛門

幹事 羽村市長 並木 心

空母ロナルド・レーガン艦載機の着陸訓練について（要請）

平成 29 年 4 月 24 日（月）、防衛省北関東防衛局から、空母ロナルド・レーガン艦載機の着陸訓練について、硫黄島で実施予定の訓練が天候等の事情により、実施できない場合は、平成 29 年 5 月 10 日（水）から 13 日（土）までの 4 日間、横田基地を使用し実施する旨の通告を受けました。

横田基地は、人口が密集した市街地に所在しており、周辺住民は、日頃から昼夜を分かたぬ航空機騒音に悩まされるとともに、事故への不安も抱えています。この上、横田基地本来の機能と異なる訓練が実施され、周辺住民の生活環境がさらに損なわれることを容認することはできません。

空母艦載機による着陸訓練が実施されることは、周辺住民の感情悪化を招くばかりでなく、ひいては、日米友好関係にも悪影響を及ぼしかねないと懸念しています。

貴職におかれましては、このような状況を十分認識され、昼夜を問わず、横田基地における空母艦載機による着陸訓練を実施しないよう、強く要請します。

平成 29 年 4 月 25 日

在日米軍司令官 ジェリー・P・マルティネス中将 殿

在日米海軍司令官 マシュー・J・カーター少将 殿

米海軍厚木航空施設司令官 ジョン・F・ブッシー大佐 殿

米海軍第 5 空母航空団司令官 マイケル・S・ワシ大佐 殿

横田基地周辺市町基地対策連絡会構成市町長

立川市長 清水 庄 平

昭島市長 臼井 伸 介

福生市長 加藤 育 男

武蔵村山市長 藤野 勝

羽村市長 並木 心

瑞穂町長 石塚 幸右衛門

幹事 羽村市長 並木 心

空母ロナルド・レーガン艦載機の着陸訓練について（要請）

平成 29 年 4 月 24 日（月）、防衛省北関東防衛局から、空母ロナルド・レーガン艦載機の着陸訓練について、硫黄島で実施予定の訓練が天候等の事情により、実施できない場合は、平成 29 年 5 月 10 日（水）から 13 日（土）までの 4 日間、横田基地を使用して実施する旨の通告を受けました。

横田基地は、人口が密集した市街地に所在しており、周辺住民は、日頃から昼夜を分かたぬ航空機騒音に悩まされるとともに、事故への不安も抱えています。この上、横田基地本来の機能と異なる訓練が実施され、周辺住民の生活環境がさらに損なわれることを容認することはできません。

空母艦載機による着陸訓練が実施されることは、周辺住民の感情悪化を招くばかりでなく、ひいては、日米友好関係にも悪影響を及ぼしかねないと懸念しています。

貴職におかれましては、このような状況を十分認識され、昼夜を問わず、横田基地における空母艦載機による着陸訓練を実施しないよう、海軍に申し入れることを強く要請します。

平成 29 年 4 月 25 日

第 5 空軍司令官 ジェリー・P・マルティネス中将 殿

在日米軍横田基地第 374 空輸航空団司令官 ケネス・E・モス大佐 殿

横田基地周辺市町基地対策連絡会構成市町長

立川市長	清水庄平
昭島市長	臼井伸介
福生市長	加藤育男
武蔵村山市長	藤野勝
羽村市長	並木心
瑞穂町長	石塚幸右衛門

幹事 羽村市長 並木心